

2021 年度

大阪学院大学高等学校対象

(高大連携) 大学講義受講プログラム受入案内

〔前期〕

〔全コース3年生対象〕

この受入案内には、講義内容、受講に際して大切な事項を記載して
いますので、よく読んで講義を受講してください。

大 阪 学 院 大 学
教育開発支援センター

2021年度 学年暦〔大学〕

前 期							後 期							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	
28	29	30	31				26	27	28	29	30			
3月 2021年 15日 オリエンテーション (至4月9日) 19日 学位授与式 31日 学年終り							9月 15日 オリエンテーション(至30日) 25日 学位授与式 30日 夏期休暇終了							
				1	2	3						1	2	
4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9	
11	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16	
18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23	
25	26	27	28	29	30		24	25	26	27	28	29	30	
							31							
4月 1日 学年始め 3日 入学式 12日 前期・第1ターム授業開始							10月 1日 後期・第3ターム授業開始 15日 岸辺祭(至18日)							
						1		1	2	3	4	5	6	
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30					
30	31													
5月 7日 振替授業日(水曜日)							11月 11・12日 全学休講 26日 第3ターム授業終了 27日 補講・定期試験予備日 29日 第4ターム授業開始							
			1	2	3	4	5				1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12	5	6	7	8	9	10	11	
13	14	15	16	17	18	19	12	13	14	15	16	17	18	
20	21	22	23	24	25	26	19	20	21	22	23	24	25	
27	28	29	30				26	27	28	29	30	31		
6月 2日 創立記念日(全学休講) 4日 第1ターム授業終了 5日 補講・定期試験予備日 7日 第2ターム授業開始 28日 振替授業日(木曜日) 29日 振替授業日(金曜日)							12月 22日 振替授業日(金曜日) 27日 冬期休暇開始							
				1	2	3							1	
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	
25	26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	
							30	31						
7月 20日 前期授業終了 27日 第2ターム授業終了 28日 補講・定期試験予備日(至30日) 31日 夏期休暇開始 サマーセッション開始							1月 2022年 7日 冬期休暇終了 11日 後期・第4ターム授業再開 26日 後期授業終了							
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5	
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	
29	30	31					27	28						
8月							2月 2日 第4ターム授業終了 3日 補講・定期試験予備日(至5日) 8日 スプリングセッション開始							
			1	2	3	4			1	2	3	4	5	
5	6	7	8	9	10	11	6	7	8	9	10	11	12	
12	13	14	15	16	17	18	13	14	15	16	17	18	19	
19	20	21	22	23	24	25	20	21	22	23	24	25	26	
26	27	28	29	30			27	28	29	30	31			
9月 4日 サマーセッション終了 15日 オリエンテーション(至30日) 25日 学位授与式 30日 夏期休暇終了							3月 5日 スプリングセッション終了 15日 オリエンテーション(至4月9日) 19日 学位授与式 31日 学年終り							
授業回数	13	13	13	13	13		授業回数	13	13	13	13	13		
計65回							計65回							

休暇
 振替授業日
 ターム制最終週(授業・定期試験)
 セメスター制最終週(授業)
 ターム制最終週(授業・定期試験)/セメスター制定期試験
 予備日(補講・定期試験)
 オリエンテーション

履修生のみなさんへ

本学は、「教育と学術の研究を通じ、広く一般社会に貢献し、且つ人類の福祉と平和に寄与する視野の広い実践的な人材の育成」を建学の精神とし、社会で活躍する人材を育成しています。

併設高等学校と大学とは、平成16年1月に教育連携協定を締結して以来、本学への入学予定者（3年生）を対象に入学前教育の一環として、大学の講義を開講してきましたが、高校と大学との7年一貫教育を推進するために、平成22年度より高校に在籍する2年・3年の生徒に対して大学の講義の受講を認めています。

大学での学びの環境は、高校とは大きく異なります。大学で学ぶ科目は自分で履修登録し、授業も自らの意志で、出席しなければなりません。このような環境の中で、教養教育や専門教育を受け、学修する大学教育は、学生自身が「学ぶ意欲」、「目的意識」を持ち、「自立している」ことが前提となります。

生徒のみなさんは、この連携授業を受講することによって、大学の教室で大学生と一緒に直接大学の先生から高校の授業と一味違った講義を聞くことができます。そこで、高校で学習しておくべき基礎学力の必要性に気付いたり、大学の授業は難しいと感じたりするかもしれません。それは高校生にとってはごく当然なことです。みなさんには幅広い視野と思考力を身につけていただき、興味・関心のあるものを発見して自分の将来の進路を決めるのに役立ててください。

この高大連携授業は正規の大学授業です。この連携授業を受講し一定の成績を修めた場合、本学に入学後、入学前既修得単位として単位を認定しますので、休むことなく最後までしっかり励んでください。

併設高等学校の生徒のみなさんには、高校と大学の7年一貫教育を通じ、学院生の中心となって活動し、また活躍していただくことを期待しています。

教育開発支援センター所長 白川 雄三

目次

1. 建学の精神	1
2. 教育連携	1
3. 目的	1
4. 履修資格	1
5. 授業期間	1
6. 授業の曜日・講時・時間	1
7. 履修費用	1
8. 曜日・授業科目・クラス・講義担当者・実施教室・教科書の使用	1
9. 評価基準・方法	2
10. 履修科目の成績・単位認定	2
11. 講義の出欠席の取り扱い	2
12. 休講	3
13. 補講	3
14. 履修上の注意	3
15. アンケートの実施について	4
問い合わせ先	4
講義要項 (シラバス)	
・生物学 (102)	5
・哲学 (101)	7
・統計学 (101)	9
・不動産学入門 A (101)	11
・倫理学 (101)	13
授業に関する Q&A	15
キャンパスマップ	18

1. 建学の精神

本学は、「教育と学術の研究を通じ、広く一般社会に貢献し、且つ人類の福祉と平和に寄与する視野の広い実践的な人材の育成を目的とする。」を建学の精神に掲げています。

2. 教育連携

大阪学院大学高等学校と大阪学院大学との教育連携協定締結にもとづき、併設高等学校の生徒の皆さんに対し大学講義を提供します。生徒は「特別科目等履修生」として科目を受講し、大学入学後、修得した科目の単位を「入学前既修得単位の認定」により認定します。

3. 目的

高校生の段階から大学生と一緒に大学の教室で、大学の教員から実際に指導を受け、自分で課題を発見し、その解決策を導き出すような思考力を養うことを目的としています。

大学での学びの環境は、高校とは大きく異なります。大学で学ぶ科目は自分で履修登録し、授業も自らの意志で、出席しなければなりません。

教養教育や専門教育を受け、学修する大学教育は、学生自身が「学ぶ意欲」、「目的意識」を持ち、「自立している」ことが前提となります。

4. 履修資格

大阪学院大学と「教育連携協定」を締結した高等学校に在籍する生徒で、高等学校長から科目履修を許可された者。

5. 授業期間

前期 2021年4月12日(月)から2021年7月30日(金)まで(補講・定期試験の予備日を含む)

6. 授業の曜日・講時・時間

火曜日・水曜日・木曜日のいずれか週1回、4講時(15:30~17:15(105分))に受講。

7. 履修費用

履修に係る費用は徴収しません。ただし、履修に伴う教科書代、保険代は個人負担となります。

8. 曜日・授業科目・クラス・講義担当者・実施教室・教科書の使用

次の授業科目の中から講義要項(シラバス)5頁以降をよく読んで履修を希望する科目を一つ選んでください。履修後の科目変更はできません。なお、授業の実施形態が変更になる場合がありますので、その際は大学から連絡します。

曜日	授業科目(単位)	クラス	講義担当者	実施教室	教科書代 (本体価格)
火	生物学(2)	102	竹井 恵美子	遠隔授業	—
水	哲学(2)	101	黒田 泰司	遠隔授業	—

水	統計学 (2)	101	上地 宏	遠隔授業	1,980 円
	不動産学入門 A	101	相川 眞一	遠隔授業	1,870 円
木	倫理学 (2)	101	樋口 善郎	遠隔授業	—

9. 評価基準・方法

評価基準・方法は履修科目によって異なります。講義要項（シラバス）5 頁以降を参照してください。学業成績は、授業科目ごとに 100 点満点として、60 点以上の得点をもって合格とし、これを次の評価によって表します。

評点	評価	可否
100 点～ 90 点	S	合格
89 点～ 80 点	A	
79 点～ 70 点	B	
69 点～ 60 点	C	
成績認定	認 (R)	
59 点～ 40 点	D	不合格
39 点～ 0 点	E	

10. 履修科目の成績・単位認定

- i. 履修科目の成績については、当該学期末に履修生および高等学校長へ通知します。
- ii. 履修生が、本学に入学した場合は、入学前既修得単位の認定により、修得した科目の単位を認定します（卒業に必要な単位に含めることができます）。なお、修得した科目の評価については、共通科目「認 (R)」で表示します。

11. 講義の出欠席の取り扱い

- i. 単位の修得には、授業時数の 3 分の 2 以上の出席が必要な授業科目があります（詳細は講義要項を参照）。したがって欠席が授業時数の 3 分の 1 を超えることの明らかな者は、当該授業科目の受験資格を失うこともあります。ただし、次の事由により欠席—①忌引のとき（一親等は 5 日、二親等は 3 日、帰省する場合はいずれも往復日数は含まない）、②学校保健安全法施行規則に定める「学校において予防すべき感染症」に罹患したとき（診断書添付）—した場合は欠席届（所定用紙）に証明書類を添えて、速やかに（原則として 1 週間以内）大学入試事務室へ届け出た者については、担当教員の判断により、欠席として取り扱わない場合もあります。
- ii. 試験期間中の欠席の取り扱いは、試験についての規程によります。
- iii. 正当な理由のない欠席については、特に厳しく取り扱われます。また、理由のいかんにかかわらず、特に出席扱いは行われません。

12. 休講

- i. 大学の行事、担当者のやむを得ない事情等により、授業を休講する場合があります。休講の連絡は、各学部の掲示板（12号館1階学生食堂前）で確認してください（大学生への連絡は全て掲示板で行っています）。なお、電話等による問い合わせは一切受け付けません。
- ii. 交通機関のストライキ・台風情報等の場合における授業の取り扱いについては、次のとおりです（高校と異なりますので、注意してください。）

●阪急電鉄・西日本旅客鉄道（大阪～京都間）のいずれかが、ストライキを決行した場合は休講とします。ただし、ストライキが解除された場合の授業の取り扱いは次のとおりとします。

ストライキ解除時刻	授業開始講時
午前6時00分までに解除	平常どおり
午前6時01分から午前10時00分までに解除	3講時から
午前10時01分以降に解除	終日休講

●大阪府・京都府南部・兵庫県南部のいずれかに暴風警報あるいは特別警報が発表された場合は休講とします。ただし、発表されている暴風警報あるいは特別警報が解除された場合の授業の取り扱いは次のとおりとします。なお、授業開始後に暴風警報あるいは特別警報が発表された場合は、本学の判断により措置します。

暴風警報解除時刻	授業開始講時
午前6時00分までに解除	平常どおり
午前6時01分から午前10時00分までに解除	3講時から
午前10時01分以降に解除	終日休講

- 災害発生等により授業に支障をきたす事態が発生した場合は、本学の判断により措置します。
- 定期試験については、上記の取り扱いに準じてこれを延期し、延期された試験の実施要領については後日これを公示します。

13. 補講

休講のあった科目等については、必ず補講を実施しますので、補講の時間割等は掲示板（12号館1階学生食堂前）で確認してください。

14. 履修上の注意

- i. 保険の加入について
履修を希望する生徒は、大学が用意している「普通傷害保険」（任意）に加入してください。なお、すでに高校において「学生総合保障制度」に加入または同等保険に加入している場合は、「普通傷害保険」に加入する必要はありません。この「普通傷害保険」への加入は任意となりますので、もし、加入されない場合に万一事故が生じたとき、全て一切の責任を大学は負えませんので、承知のうえ講義を履修してください。

ii. 履修生の資格取り消しについて

特別科目等履修生としてふさわしくない行為があったときは、特別科目等履修生を取り消すことがあります。

iii. 服装について

授業期間中の服装は、制服とします。

iv. 自転車の利用について

自転車通学可、ただし保険加入者のみ（指定の駐輪場を使用すること、バイク不可）。

v. 履修生証等の携行について

大学に入る時は、必ず「特別科目等履修生証」を所持すること。また、大学のメインエントランス等で体温チェック後に手渡されるタグは必ず身に付けること。

vi. 持参するものについて

① 筆記用具・講義ノート

② 教科書（講義要項に準じること）

③ 各講義中に教員から持参することを指示されたもの

vii. 遠隔授業について

本冊子の「授業に関する Q&A」を参照のこと。

15. アンケートの実施について

前期期間終了後にオンラインでのアンケートを実施する予定です。皆さんが申込時に記入したメールアドレスにアンケートの回答に必要な URL を送信しますので、必ず回答してください。

なお、アンケート調査は、個人が特定できない形態で実施します。いただいた回答は、本プログラムの改善にのみ活用します。

〔問い合わせ先〕

大阪学院大学 入試事務室（高大連携担当）（本館 1 階）

TEL：06-6381-8434（代表）

講義要項 (シラバス)

講義名：生物学 102

曜日：火曜日

担当教員：竹井 恵美子

講義(演習)テーマ

身近な生物（主に植物）を題材に、生物学を学ぶ。

地球を取り巻く生態系、身近な植物と人間の関係についての学びを通して、植物学、生態学、遺伝学、民族植物学など分野の知識を身につけ、理解を深める。

講義(演習)概要

この講義では、私たちが日常的に目にしている身近な生物（主に植物。昆虫や動物をとりあげることもある）を題材に、生物学を楽しく学ぶことを目的としている。

2020年度の講義で「バナナ」を取り上げたところ、ある学生から「生物学は生きもののことを学ぶと思っていたのに、なんでバナナの話をするんですか？」という質問を受けた。その学生はバナナは食べ物だから、生きものではないと思っていたのだろう。でも、バナナは植物であり、植物も生物界の一員なので、バナナを取り上げることはぜんぜんおかしくない。バナナも生物学の守備範囲なのだ。そんな質問に一つ一つキャッチボールのように答えながら、授業を進めている。受講生から授業の題材を提供してもらうこともある参加型の授業だ。身近な植物の性質や人間との関わりについて知ることができる。この講義を受けた後は、世界の見え方がちょっと変わっているかも知れない。

到達目標

身近な生物（主に植物）を通じて、生物学に親しむ。

世界の主な生態系との関連から栽培植物の起源と伝播、人間による利用について学ぶ。

世界のさまざまな環境における人間と生物の関わりを学び、文化の多様性を理解する。

講義スケジュール (授業計画)

身近な生物（主に植物）を題材に生物学の知識を深め、人間の文化の多様性を理解する。

第1回 植物と人間の関係

第2回 栽培植物と人間の共進化

第3回 スイタクワイの生物学

第4回 バナナの生物学

第5回 サトイモの生物学

第 6 回	東南アジア山地の生活と植物
第 7 回	生態学から見た焼畑農耕
第 8 回	アフリカ、サバンナの生活と植物
第 9 回	地中海農耕文化
第 10 回	雑草の生物学
第 11 回	新大陸農耕文化
第 12 回	イネの生物学
第 13 回	作物の栽培化と育種

評価基準・方法

定期試験: 0%

レポート: 30% (レポート課題は第 12 回の授業で出題する。レポートは添削して返却する)

日常点: 70% 毎回の授業へコメント (課題) の提出により評価する

その他: 0%

授業外学習の指示

授業では毎回パワーポイントによる資料を使用する。

授業では、コメントの提出の他、アンケートやクイズ形式の小さな課題を出題することがある。授業で使用した資料は逐次 Caddie に掲載し、授業内容に関連する参考図書を示す。

これらを用いて積極的に予習、復習に利用し (4 時間)、課題を通じて、授業への理解を深めてほしい。

オフィスアワー

4 月に学生ホームページに掲載する。

教科書

使用しない。

参考文献

中尾佐助『栽培植物と農耕の起源』(岩波書店)

H. ベイカー『植物と文明』(東京大学出版会)

担当者からの一言

生物を楽しもう。

講義名：哲学101

曜日：水曜日

担当教員：黒田 泰司

講義(演習)テーマ

日本の思想を歴史的に考え、幅広い教養を身につける

講義(演習)概要

日本の思想についての理解を深め、文化的伝統の一端を知ってもらいたい。過去の偉大な思想の中に満ちている叡智に触れることは、目まぐるしく移り変わる現代に生きる者にとって、貴重な刺激となり、将来への指針を見出す契機ともなるであろう。

この講義では、日本の思想の中には、日本固有の考え方と外来思想の影響を受けた考え方とが混在している点に注目し、次の三点から日本思想の特質を追求したい。(1)日本固有の思考法の考察、(2)外来思想の受容形態、(3)代表的思想家の研究。このうち(3)に関して、当該クラスでは江戸時代の合理主義的な思想家を中心に論じることとする。

到達目標

日本の思想を歴史的に考えることで、これまで断片的に身につけてきた知識を相互に関連づけられるようになり、日本思想に対する興味が増すようになる。また過去の思想といえども、現代人にとって十分参考になることがわかるようになり、生きた思想としてとらえることが可能となる。このようにして日本の文化的伝統について、表面的知識におわらない深い教養が身についていく。そのことにより、グローバル社会でいかに生きるべきかについて重要な指針が得られる。

講義スケジュール (授業計画)

原則として以下のスケジュールですすめるが、学生の反応を見ながら講義するので、多少の変更を行うことがある。

- | | |
|-----|--------------------------------|
| 第1回 | 日本思想の構造とその特色 |
| 第2回 | 古代日本の思想 (外来思想の入る前を中心として) |
| 第3回 | 外来思想の受容態度(1)仏教、儒教、道教 |
| 第4回 | 外来思想の受容態度(2)キリスト教、西洋思想 |
| 第5回 | 神道の変遷 |
| 第6回 | 江戸時代の代表的思想家 (1) 石田梅岩 (生涯とその時代) |
| 第7回 | (同上つづき 思想の特色) |
| 第8回 | 江戸時代の代表的思想家 (2) 山片蟠桃 (生涯とその時代) |
| 第9回 | (同上つづき 思想の特色) |

- 第10回 江戸時代の代表的思想家（3）富永仲基（生涯とその時代）
第11回 （同上つづき 思想の特色）
第12回 江戸時代の代表的思想家（4）安藤昌益（生涯とその時代）
第13回 （同上つづき 思想の特色）

評価基準・方法

定期試験:0%

レポート:0%

日常点:100%（OGU-Caddieでの課題の結果にもとづく）

その他:0%

フィードバックはOGU-Caddieで講評を行う。

授業外学習の指示

予習として講義テーマに関係する書物を調べ、疑問点や不明点をノートにまとめる。（2時間）講義のあとは講義ノートを再読し、書籍やネットを利用して理解を完全にし、必要な点はノートに書き込む。疑問点があればメモなどにまとめ、次回の講義時に質問できるようにしておく。（2時間）

履修上の注意

前期末の試験結果によって成績を評価する。出題は講義の範囲内で行うので、よく聴いて、しっかりとノートをとってもらいたい。したがって講義を聴かないで試験だけ受けても、単位の修得は困難である。

オフィスアワー

4月に学生ホームページに掲載する。

教科書

使用しない。

参考文献

使用しない。

担当者からの一言

OGU-Caddieによる遠隔授業を行う。

講義名：統計学 101

曜日：水曜日

担当教員：上地 宏

講義(演習)テーマ

大学生に最低限必要な記述統計と確率統計、推定検定による判定の基礎

講義(演習)概要

高校までに、統計を数学の一分野として学んだ学生がいるかもしれませんが。しかし、元をたどると、統計学は数学、科学の分野から経済や政治などの社会現象のマクロ的な情報を客観的に説明するために発展してきました。文系か理系かに関係なく、アンケート調査、データを分析する分野で必要となる道具です。ほとんどの学生にとって必要な学問です。記述統計は、表やグラフの作成、統計量の計算などを行って、統計データの特徴を明らかにしていく分野です。理解を深めるために、コンピュータ演習も少し入れます。計算ではコンピュータ演習室でエクセルなどの使い方に慣れてください。

到達目標

1. 統計学は、調査、データ分析に必要なものであることを理解する。
2. データを適切な方法で表や図にすることができる。
3. 平均・分散・標準偏差の計算方法と利用方法を理解する。

講義スケジュール (授業計画)

- | | |
|-----|---|
| 第1回 | ガイダンス：統計学とは何か。 |
| 第2回 | 度数分布表とヒストグラム、相対度数と累積相対度数
(エクセルについて。第1回コンピュータ演習課題として提出) |
| 第3回 | 代表値、平均値、標準偏差とその考え方。
平均値、標準偏差はなぜ必要か、数学的、科学的意味について。 |
| 第4回 | 代表値、平均値、標準偏差とその考え方。
平均値、標準偏差はなぜ必要か、数学的、科学的意味について。 |
| 第5回 | 度数分布、相関関係と散布図、最適直線、 |
| 第6回 | 相関関係と散布図、最適直線、
プログラム関数、TREND関数の使い方、例題演習 |
| 第7回 | データと百分率 (%)
第1回課題提出締め切り (日時はキャディーより連絡) |
| 第8回 | データと百分率 (%)
確率の公理と基礎定理、基礎公式 |

	第 2 回課題説明
第 9 回	確率の公理と基礎定理、基礎公式 全確率の定理、ベイズの定理
第 10 回	確率の公理と基礎定理、基礎公式 全確率の定理、ベイズの定理、演習
第 11 回	2 項分布、正規分布の意味と使い方
第 12 回	2 項分布、正規分布の意味と使い方、確率の演習問題
第 13 回	確率の演習問題、第 2 回課題提出

評価基準・方法

レポート 2 回:100%

授業外学習の指示

予習・講義の後、復習をしっかりと行ってください。講義で扱った練習問題をもう一度自分で解いてみることで、理解が深まると思います。(予習、復習合わせて 4 時間)

履修上の注意

欠席すると分らなくなるので、なるべく出席するようにしてください。やむなく欠席した場合は、教科書で該当箇所を学習し、次の講義に備えてください。

オフィスアワー

4 月に学生ホームページに掲載する。

教科書

小島 寛之『完全独習 統計学入門』(ダイヤモンド社)

参考文献

授業中に指示する。

関連 URL

Web サイトには、初歩的なものから専門的なものまでありますので、教科書を補う、自分に合ったものを参考にすること。

担当者からの一言

内容を友達と議論しても良いですが、課題は自分の言葉と説明で書くこと。

講義名：不動産学入門 A101

曜日：水曜日

担当教員：相川 眞一

講義(演習)テーマ

「不動産学入門」

講義(演習)概要

不動産学に関して基礎から体系的に学習していく。不動産とは、民法によると、「土地及びその定着物」であるが、簡単に言うと、土地や建物であり、「衣・食・住」の「住」に該当する。すなわち、われわれに身近な存在である。ゆえに、不動産の勉強は楽しいし、興味深いものである。初学者対象に、まさにゼロレベルから講義する。本講義は、一連の不動産関連講義の中で一番易しい段階のものである。あわせて、「不動産学入門 B 及び不動産鑑定理論入門」の履修が望ましい。また、1 年次より就活に関心を持ってもらうため、企業の話を積極的にしていく。

到達目標

現代社会に対する理解や問題意識が高まっていること。

不動産学に関して、基礎の基礎から学習し、土地や建物とはどういうものか、住宅購入にはどういう手続きが必要か、災害に強い住宅とはどういうものか、という知識習得により、経済学のための基礎学力、そして、宅地建物取引士資格試験に合格するための「不動産学の土台・素養構築」が目標である。また、宅地建物取引士の基礎である賃貸不動産経営管理士資格試験に合格できる身につけることを目指す。

講義スケジュール（授業計画）

不動産学の基礎マスター

- | | |
|-------|--|
| 第 1 回 | 不動産とは？ |
| 第 2 回 | 土地の知識 |
| 第 3 回 | 建物の知識 |
| 第 4 回 | 住みよいまちづくりのために |
| 第 5 回 | 災害と不動産 |
| 第 6 回 | 野・山・川へ探検に行こう |
| 第 7 回 | ウルトラマンと不動産 |
| 第 8 回 | 日本万国博覧会 (EXPO'70)・吹田市の過去・現在・未来、そして NATS (ナッツ)！ |

第 9 回	日本列島改造論と地価高騰
第 10 回	阪神タイガース日本一・プラザ合意・冷戦の終結
第 11 回	失われた 20 年
第 12 回	東京五輪、大阪・関西万博と不動産
第 13 回	総まとめ
第 14 回	定期試験

評価基準・方法

定期試験: 70%

レポート: 0%

日常点: 30% 出席は原則として取らないが、理解度テストの随時実施をし、すぐに回収し、解説をする。評価の対象となる。

その他: 0%

授業外学習の指示

日常から、不動産・円や株式の動きに興味を持つこと。新聞等で不動産・金融等に関する記事があれば、ファイルし、読み込む習慣を身につけること。きっと、不動産学が面白いことを発見するであろう。予習として、テキストを読むこと（4時間）。

履修上の注意

予習はテキストを軽く見る程度でよい。復習ではテキストをじっくり読み、授業中にした問題をもう一度解いていただきたい。

オフィスアワー

4月に学生ホームページに掲載する。

教科書

相川 眞一著『ゼロからの不動産講義・改訂版』（創成社）

参考文献

使用しない。

担当者からの一言

がんばりましょう。

講義名：倫理学 101

曜日：木曜日

担当教員：樋口 善郎

講義(演習)テーマ

倫理的に考えるための基本的道具の概説

講義(演習)概要

激動する現代社会に対応するために倫理学も近年大きく変貌をとげてきた。本講義では、従来の倫理学の中でも特に重要な倫理思想、そして近年登場してきた新しい倫理思想を取り上げる。色々な具体的事例を手がかりにして、倫理的に考えるための思想的な道具（ツール）を身に付けてもらうのが本講義のねらいである。

到達目標

具体的事例を手がかりにして倫理学の基本的知識を学び、倫理的に考えるためのツールを身につける。

講義スケジュール（授業計画）

- | | |
|------|--------------------------|
| 第1回 | 宗教の倫理：他律の思想 |
| 第2回 | 黄金律：互惠性という考え方 |
| 第3回 | 徳の倫理1：魂の立派さという思想 |
| 第4回 | 徳の倫理2：正しい魂という思想 |
| 第5回 | 徳の倫理3：中庸という考え方 |
| 第6回 | 義務論1：普遍化可能性という考え方 |
| 第7回 | 義務論2：自律の思想 |
| 第8回 | 功利主義：最大多数の最大幸福という考え方 |
| 第9回 | 自由主義1：他者危害原則という考え方 |
| 第10回 | 自由主義2：最小国家の思想 |
| 第11回 | 生命倫理学1：患者の自己決定権 |
| 第12回 | 生命倫理学2：最先端医療技術をめぐる倫理 |
| 第13回 | 環境倫理学：自然の権利・世代間倫理・地球全体主義 |

評価基準・方法

定期試験：%

レポート：35% 学期末にレポートを課す。OGU-Caddie 上で講評を行う。

日常点：65% 毎回の授業後、OGU-Caddie 上で授業内容を踏まえた課題の出題とアンケートを行う。5点×13回

その他：%

日常点のみでは合格としない。合格のためには学期末レポートの提出が不可欠である。

授業外学習の指示

この授業では OGU-Caddie 上で事前に講義資料を配付するので、各自ダウンロードして、事前にプリントを熟読して、予習しておくこと（1時間）。参考文献も紹介するので、目を通しておくこと（2時間）。また、毎回の授業後、OGU-Caddie 上で授業内容を踏まえた課題の出題とアンケートを行う。それを提出することが日常点となる。正しい解答ができるように、講義資料を中心に授業の復習をしっかりとしておくこと（1時間）。

履修上の注意

授業の中で一緒に具体的な事例について真剣に考えて、積極的に意見を述べてほしい。
また原則、授業の欠席回数（または課題の未提出）が5回以上の者は評価の対象外とするので、注意されたい。

オフィスアワー

講義終了後に教室で受け付ける。

教科書

OGU-Caddie 上で事前に講義資料を配付する。

参考文献

講義資料や講義内で指示する。

担当者からの一言

講義ではそれぞれの倫理思想の一番重要な部分を紹介するのみである。興味をもったら直接原典に触れてより深く学んで欲しい。

授業に関する Q&A

ここでは、インターネットでの授業などについて、よくある質問に対する回答を紹介します。

学内情報システムの利用について教えてください。

- ・パソコンの起動方法
ID・パスワード：高校と同様のものを使用してください。
- ・OGU-Caddie の使用方法
ID：履修生番号、パスワード、生年月日を入力すること。

OGU-Caddie*に履修登録した科目が表示されません。

OGU-Caddie（以下、Caddie）の情報は前日午前中の内容が反映されています。前日午後に履修登録した科目は翌日更新されます。このため授業に参加できなかった場合は、配慮していただけるよう教員に依頼しています。

Caddie の課題が更新されていません。

教員が課題を更新できていない可能性があります。近日中にアップロードされますので、こまめに Caddie を確認してください。なお、課題は急を要するものでないため、ご安心ください。

Caddie に掲載されているファイル資料の PDF ファイルなどが iPhone で見るできません。

iPhone 標準ウェブブラウザの Safari をご利用ください。

遠隔授業に対応できるか不安です。

遠隔授業においては、見っ放し、聞きっ放しの授業に終わらせない工夫が必要です。予習（ビデオ講義）→共有・討論（オンライン）、掲示板やチャットによるコンピュータ上の学習が中心になりますので、予習・復習は欠かさず行ってください。質問がある場合には、Caddie などを通じて、直接担当教員に確認をしてください。

OGU-Caddie* URL：<https://caddie.osaka-gu.ac.jp/lms/lginLgir/>

講義資料の閲覧や課題の提出をするための便利な学習ツールです。履修した科目について、資料教材の閲覧、レポートや小テストの提出を行います。また、授業の出欠を取ることもあります。

シラバスで遠隔授業の実施方法を確認してください。授業で使用するアプリは、

・Zoom ・Google Classroom ・Google Meet などを使用する場合があります。

各アプリの操作方法については、<https://www.osaka-gu.ac.jp/junior/qa/index2.html> でマニュアルのリンク先を紹介しています。なお、Caddie にもアプリの操作方法について掲載しています。

オンライン（遠隔）授業を受ける上での注意点はありますか？

以下の点に注意してください。

1. 授業や資料へのアクセスのために与えられた URL や ID、パスワードなどを、他者に教えてはいけません。
2. 授業を妨害する行為（遠隔授業への不適切なアクセスや行為など）を行ってはいけません。
3. 配布される授業の資料（教員・学生が作成したもの）を他人に提供（印刷して渡したり、メールで転送したり、クラウド上で共有したり）してはいけません。
※授業の資料には通常様々な著作物が含まれています。授業で配布される資料は、授業に参加しているものだけの使用が認められており、外部に出すことは禁じられています。
4. Zoom などによる同時双方向型遠隔授業の様子を許可なく動画として自身のパソコン等に保存してはいけません。また、静止画のキャプチャー（スクリーンショット）を撮ることもいけません。教室での授業を許可なく録画したり写真を撮ってはいけないのと同じです。
※静止画のキャプチャーに関しては授業の担当者に許可された場合のみ可能といたします。
5. 授業担当者や受講者について、SNS や掲示板などで誹謗中傷したり誤った情報を発信してはいけません。
6. 受講者の氏名、年齢、学籍番号などの個人情報を SNS や掲示板などインターネット上にアップロードしたり、外部に漏洩させたりしてはいけません。
これらの注意事項は、遵守してください。これらの注意事項を履行できていないと担当教員等が判断した場合には、履修が取り消される場合があります。

本学の遠隔授業は、次の3種類があります。

- ・「遠隔授業 A」 講義資料・課題提示による遠隔授業（Caddie を使用）
- ・「遠隔授業 B」 オンデマンド型遠隔授業（Caddie を使用）
- ・「遠隔授業 C」 同時双方向型遠隔授業（Caddie、Zoom 等を使用）

図書館は利用できますか？

履修した科目の理解をするために、本学の図書館を利用して、科目に関連する書籍に目を通すことをおすすめします。今後、行政からの要請により、開館スケジュールに変更が発生する可能性もありますので、利用する前には、<https://www.osaka-gu.ac.jp/library/index.html> にアクセスして開館状況を確認するようにしてください。

なお、図書館を利用する際には、履修生カードを持参してください。

履修生カードは常に携帯する必要がありますか？

履修生カードは、皆さんが特別科目等履修生であることを証明する大切なものです。授業を受ける日には常に携帯し、本学教職員の請求のあるときなどは、提示しなければなりません。また、定期試験の際、履修カードがないと受けることができません。以上のことから、交付された履修生カードは、紛失したり汚したり磁気に近づけたりしないよう大切に取り扱いってください。

履修生カードを携帯していない者は、本学の施設を利用できないため、各館へ入館するには必ず携帯してください。なお、紛失した場合は、速やかに P.4 に示す連絡先までお知らせください。

履修生カードの有効期限は、2021 年度前期期間中有効です。交付された履修生カードを他人に貸与または譲渡することは許されず、その他不正に使用することはできません。

シラバスにある「参考文献」は購入する必要がありますか？

履修した科目で参考文献が紹介されている場合には、できるだけ、読んでみることをおすすめします。本学の図書館に所蔵されているかどうかを確認したい場合は、「大阪学院大学 図書館 蔵書検索 (OPAC)」<https://www.osaka-gu.ac.jp/library/> を利用してください。購入する場合は、各自で書店、インターネットなどを使用して、購入してください。

大学の定期試験はいつ、どのように行われるのですか？

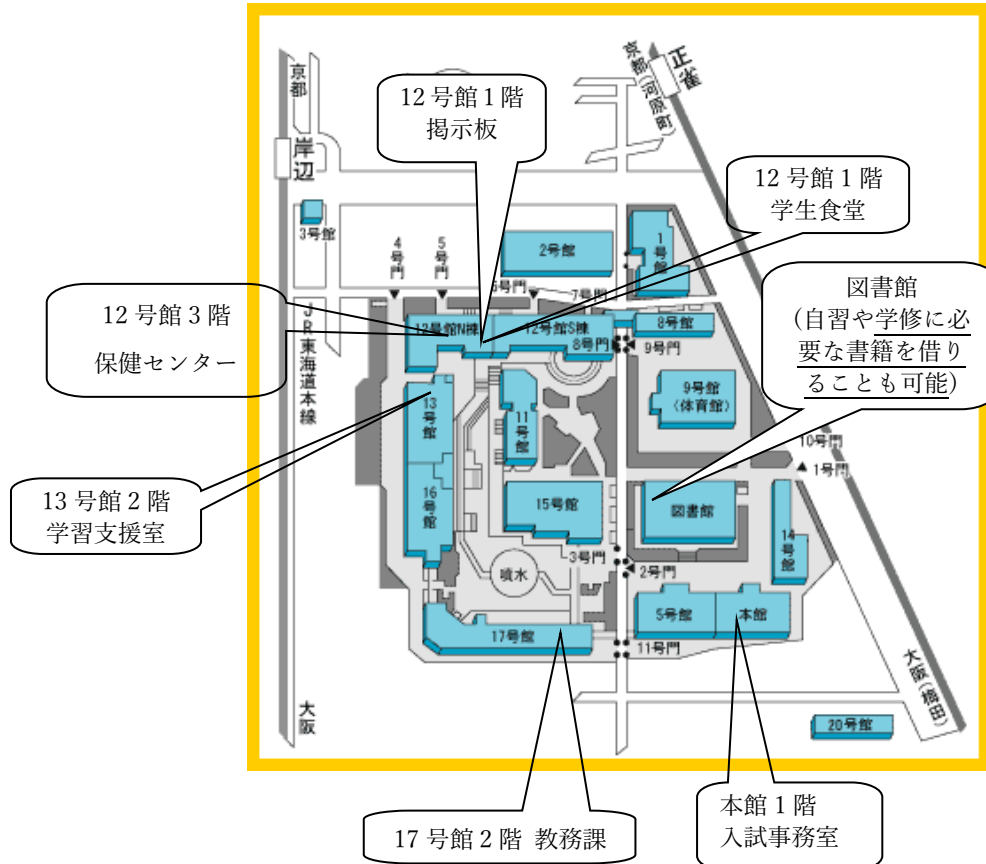
定期試験については、7月15日から7月30日までの間で1日実施します。Caddie 上で試験が実施される場合には、指導教員が Caddie 上に情報を公開します。案内されている情報を読んで試験の実施方法について理解してください。わからないことがあれば、大学の入試事務室の高大連携担当まで連絡してください。

キャンパスマップ

初回の講義の際に使用できる PC 教室に職員が案内します。

2 回目以降の講義については、高等学校の授業が終了後、皆さんで大学の教室に移動してください。

大学キャンパスへの移動の際には、交通に充分注意してください。



学内の PC 教室

オンライン授業を大学の PC 教室でも受講可能です。なお、他の授業で使用されている場合がありますので、その場合は、別の教室の空き状況を確認してから利用するようにしてください。

以下の URL で PC 教室の開放時間割表が確認できます。または各教室の入り口付近に時間割表が表示されています。

➔ <http://pathos.osaka-gu.ac.jp/help/pcinfo/classroom.html>

注：大学のネットワーク環境下のみアクセス可

号館	階	場所	Internet	Print out	通常利用時間	備考
2	3	02-03-04教室	○	○	9:00~17:15	
		02-03-05教室	○	○		
		02-03-09教室	○	○	9:00~17:15	
		02-03-10教室	○	○		
12	4	大学院研究室	○	○	9:00~19:30	注2
		12-04-01教室	○	○		
		12-04-04教室	○	○		
14	2	12-04-05教室	○	○	9:00~17:15	
		大学院研究室	○	○		
16	B1	16-B1-05教室	○	○	9:00~17:15	
	1	16-01-01教室	○	○		

注1：情報学部・企業情報学部生のみ利用可

注2：大学院生のみ利用可



大 阪 学 院 大 学
教育開発支援センター